

だいじょうび?

薬の正しい使い方

数年前から厚生労働省の指針により、医師の処方箋がなくても市販薬として鎮痛剤や風邪薬、胃薬等が、薬剤師の駐在するドラッグストアなどで購入できるようになっています。私たちの診療でも最近では『首や腰が痛くて市販薬を利用していたが効果が無いので医療機関に相談に来た。』等の事例がよくみられます。

医療機関を受診する際には、保険証を持参して先ず窓口で提出し、問診、検査、診察、会計でほぼ一日時間を費やすこともあります。一方で、ドラッグストアに行けば、かなりの症状に対応してくれそうなお薬が並んでいます。以前では医療機関でしか処方されなかったお薬も駐在の薬剤師に相談すれば高価ではありますが手に入りやすくなっています。

しかしながら、症状を早く緩和したいがために市販薬を購入して注意説明書をしっかり読まずにお薬を服用し、一時的に症状が緩和することでお薬が効いたと思うのは危険な場合があります。

姫路市医師会
スポーツ医学
委員会



宇野津 雅哉

先ず、購入する前に知って頂きたいことは、内臓に全く負担のかからないお薬は無いと思って頂きたいのです。特に内服薬（経口）は胃腸から吸収してから効果が出現します。様々な副作用もあり、アレルギー、蕁麻疹から命に関わるものまでありますので市販薬を購入する前にお店の薬剤師に相談されることをお勧めします。

また、市販薬で一時的に症状が緩和されたとしても重篤な病気が隠れている場合があります。心筋梗塞や脳卒中の初期症状も鎮痛剤で緩和される場合があります、発見が遅れることで重篤な病気を進行させてしまうことがあるので注意しましょう。

忙しくても普段から健診を受け、(国や健康保険組合からも補助が出る健診があります。)自分自身の健康状態を知っておくことが大切です。些細な症状と思っていても本当は怖い病気も隠れていることがありますので、一度は医療機関に相談してみましよう。